

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第15回板倉区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

- ・上越市が所有する日帰り・宿泊温浴施設のサウンディング型市場調査の結果について（公開）
- ・地域独自の予算の事業一覧について（公開）

## 3 開催日時

令和5年3月23日（木）午後5時00分から午後5時45分まで

## 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

## 5 傍聴人の数

3 人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、吉田重夫、長藤豊
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、一藁次長、米川次長、関根産業グループ長、市村市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、大堀建設グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

【米川次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を吉田委員に依頼。

4 報告事項 上越市が所有する日帰り・宿泊温泉施設のサウンディング型市場調査の結果について事務局からの説明を求める。

【関根G長】

- ・資料1に基づき説明

【平井会長】

質問、意見のある方の挙手を求める。

【庄山委員】

やすらぎ荘に対してサービスの内容の見直しの提案があったということだが、具体的にどのような提案があったのか。

【関根G長】

先ほども説明の中で話をさせてもらったが、企業の機密情報が含まれるということから、具体的な内容の公表は差し控えさせていただくという方針になっている。ただ、前回の地域協議会でも示させていただいた集約合併会社のアクションプランの中に、やすらぎ荘についてはテイクアウトや屋外提供による独自商品の開発が示されていたので、資料に記載してある一部機能の休止や機能の追加等、こちらの内容がアクションプランに反映されているように感じた。

【古澤総合事務所長】

今の説明に補足させていただく。提案内容は今関根G長が申し上げたとおりが、新合併会社の社長と意見交換をした際に、ネクストリゾート上越（株）については、柿崎、大潟、吉川と板倉だが、柿崎と大潟は海岸端なので海鮮が主となる。吉川も大体そちらの方となる。その3つと同じ会社の中で差別化するには、やすらぎ荘は地域のもの、山の幸を使った料理に力を入れていきたいという話をされていたので、4月から新会社になるができれば会社のコンセプト等をこうい

う場所で話をする機会があれば話をさせていただきたいと社長には話をしてある。また機会を見て皆さんに話をさせていただきたいと思っているのでそうになったらお願いしたい。

**【平井会長】**

他にないか。

(意見、質問なし。)

この件については以上とする。

次に、地域独自の予算の事業一覧について事務局に説明を求める。

**【小池地域振興班長】**

- ・資料2に基づき説明

**【古澤総合事務所長】**

説明の補足をする。筒方地区活性化事業に関わる、旧筒方小学校の漏水の関係だが、地域協議会から意見書を出していただき、市の関係部署と協議をした結果、施設の建物自体は市のものなので市の予算として修繕を行うことになった。明日議決されるが、4月早々には発注をして6月の第一週に予定されているふきんとまつりに間に合うようにやっていく予定である。意見書を提出していただき、それに基づいて市の関係部署と協議をしながら話を進めてきた結果が、一年先送りになってしまったかもしれないが、令和5年度については完全なかたちで対応できるようになるので、皆さんからご協力、ご意見いただいたことに感謝するとともに、また、施設の活用についてご尽力いただきますようお願いする。

**【平井会長】**

質問、意見のある方の挙手を求める。

**【田中委員】**

2点質問させていただく。まず1点目は、板倉区の事業一覧の中に5番目に光ヶ原高原の関係が載っている。金額も約200万円ということで大きい。私は前から質問をしていると思うが、光ヶ原高原については市の方で撤退したがそこに予算を使うことはいかがなものかと思う。地域独自の予算も結局市の予算である。そうであれば撤退する必要がなかったのではないかという考えがある。他の区についても、そういう事業があるか分かる範囲で教えていただきたい。他のと

ころを見ていくと、特に頸城区の場合、実施主体が市となっているのが2件ある。他の地区にもあるが、実施主体が市であって、これを市独自予算として検討する必要が何があるのかと疑問である。この2点について分かったらお願いしたい。

**【古澤総合事務所長】**

まず、光ヶ原高原の関係である。光ヶ原高原の観光振興については、町の時代から建物を活用して観光振興をやってきた。そこが老朽化して使用できないというところがあったので、いったんその施設については廃止をさせていただいた。今回の提案については、光ヶ原ファン倶楽部や農業者が、今までの施設を使うわけではなく、あそこをキャンプとかアウトドアの場所、バギー等を走らせたりそういう新たな提案というかたちで申請している。それと信越トレイルもそうだが、信越トレイルは飯山市と上越市をつなぐ年間2万人が訪れるトレイルだが、その人たちが光ヶ原高原の方に安全に来ることができるように、トレイルの道標の整備などを行うものである。このように廃止した場所を同じように使うわけではなく、新たな提案としてあのフィールドを使った活用策ということなので、違う切り口で観光振興に繋げる、また地域の活性化に繋がるような取り組みで地域活性化に繋がりたい。同じようなところだと、隣の清里区の坊ヶ池についても山荘京ヶ岳は一旦廃止された施設であるが、地元の櫛池振興会さんやまちづくり振興会があそこを活用して、今までの温浴施設でなく集会施設として、同じような取り組みではなく、新たな取り組みを行って地域独自予算に繋げていくというところもある。そういった全く廃止したものを新たに作るのではなく、新たな取り組みとして地域振興や活性化に繋げる取り組みとして他にもあるかもしれないが、今分かる範囲で答えさせていただいた。

**【平井会長】**

頸城区の実施主体の市についてはどうか。

**【古澤総合事務所長】**

頸城区の細かい内容は今確認できないが、名立区の子どもたちの平和学習推進事業というのがあるが、これは共生まちづくり課の担当になる。この平和学習については、青少年の育成活動ですずっと行ってきたが、なかなか財源的にも継続し

でできなくなってきたとまっているということがあって、そういった相談を受けて、内容についてはいい取り組みでもあり、継続した取り組みとして子どもたちの平和活動に対する学習、意欲をつなげるために必要だということで、名立区の方で共生まちづくり課と協議をして、担当課としてはその事業内容については継続していくべきと捉えて、そこで市の事業として採用しましょうということで、地域独自の予算で市の事業として令和5年度は行う予定である。例えばこういった事業が他の区でもできるようなものがあれば、独自事業ではなくて、市の事業として共生まちづくり課の方で令和6年度に予算を持って全区というかできるところに広げていくといったことができるので、今回令和5年度の予算についてはまずここから始めるということになる。

【平井会長】

地域活動支援事業でも、市が行う事業があったが、それと同じようなものか。

【古澤総合事務所長】

地域活動支援事業は各区に予算を配分して行うものであったが、地域独自の予算は総合事務所が行うこともできる。地域協議会が提案することもできる。

【平井会長】

提案したときに交通整理されたのか。地域協議会の提案と、市の提案と。そのうちの市の提案ということか。

【古澤総合事務所長】

そういう考えであればそういうことである。

【田中委員】

最初の光ヶ原高原の件で、信越トレイルの道標の整備について説明があったが、それは前から信越トレイルの拠点でもあるので、グリーンパル光原荘は重要なトイレ使用箇所でもあるしというようなところで、それを残して欲しいという話も出ていたわけだが、結局それは廃止となって、トイレはキャンプ場のものを使うという話であった。そういうように信越トレイルに絡んだ施設を残してくれという要望があったが、古くなっているということもあったのだろうが、廃止をしてまた結局信越トレイルと絡めてどうのこうのというものについては、光ヶ原ファンクラブの方でしているのも分からないわけではないが、そういった他県に

またがったり他の行政にまたがったりしているものについては、逆に市の方が責任を持って整備すべきことだったのではないか。なぜ光ヶ原高原ファンクラブが一所懸命やらなくてはいけないのかと考えた。何も一括りにして提案があったからそれはそれでお願いしますでは私はないと思う。来年度以降についてもそういうのがあると思う。市独自の実施主体のものを見ていくと頸城区には花の苗里親育成事業や三和区の谷内池周辺の遊歩道整備事業とか、担当課が取り組む主体であって、地域独自の予算とは違うのではないかという気がしているが、来年度に向けて板倉区の中でももう少しそういった点では検討したり、掘り下げていく必要があるのかなと思うので、細かなものが手に入るのであれば見てみたいと思うので、時間は急がないのであったらお願いしたい。

**【古澤総合事務所長】**

私の先ほどの説明が信越トレイルの整備に拘ってしまった説明になっていたかもしれないが、信越トレイルの道標の整備が行われるが、趣旨としては信越トレイルで訪れる方をおもてなしするような取り組みを行う予定である。令和4年度も行ったが、信越トレイルで飯山市から来られた方に対して、地元の産品でおもてなしをして、板倉に行くところといったものがあるということを周知して、その場では季節ごとに訪れる可能性が高いので、そういう人達に対して話をして板倉区のPRをして、そこでまた板倉区の産品を売り出していくそういう取り組みをメインと考えているので、新たな展開として進めていきたいと思っている。地域独自の予算は、三和区とか板倉区とかその場所に特化した事業になる。当区においても例えば令和6年度の予算に向けて、いろいろなアイデアを皆さんから出していただいて、総合事務所が取りまとめてそこで提案することも可能なので、令和5年度の上半期になるが、いろいろな提案をいただければ、そこで協議しながら進めていければと思う。

**【平井会長】**

他にないか。

(意見、質問なし。)

この件については以上とする。

次にその他に移る。事務局から何かあるか。

【小池地域振興班長】

有田区の地域活性化の方向性、柿崎区の地域活性化の方向性が3月に決定されたということで配布させてもらった。各区の地域活性化の方向性が決定したら、他の区に情報提供して委員の皆さんに参考までにご覧いただくこととなっている。また上越市のHPにおいても紹介されているのでご覧になっていただければと思う。

【平井会長】

- ・次回会議の日程について確認。

他にないか。

【長藤委員】

明後日、板倉区の防災リーダー研修を実施することとなっている。防災リーダー研修というのは、地域の防災リーダーである町内会長や防災士を対象に地域自治会単位で開催する研修である。その中で地域協議会が関連するものとして、健康福祉部会で民生委員と防災士との連携ということで検討されてきたものについての発表を行う予定である。集まっていた人の中に小林委員がいらっしやっただけで小林委員から説明いただくこととなっている。その他の内容については、ハザードマップの活用や、板倉区でこの1年間やってきた防災士の実績、今後の防災士の育成に関することである。

【平井会長】

他にないか。

(質問、意見なし)

その他については以上とする。

【古川副会長】

- ・挨拶

【米川次長】

以上で、第15回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-78-2141 (内線123)

MAIL : [itakura-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。